

岡崎 乾二郎
Kenjiro Okazaki

『ジャンルの問題』

建築 絵画 彫刻 音楽 映画 演劇
文学、など芸術の諸ジャンルの峻別はいかにして行なわれてきたのか？
それはいまだ可能なのか、そして有効なのか？
時間／空間、装飾／図像、知覚／客体、使用／物体などの
概念区分の検討を並行させながら、具体的作品の分析を交え、論じなおす。

京都造形芸術大学通信教育部建築デザインコース特別講義

Architectural Lecture Series 05

10月23日（土） 18:30～20:00（開場18:15）

人間館本部棟 NA301教室 入場無料

岡崎 乾二郎 おかざき けんじろう

1955年東京生まれ。造形作家。80年代よりパリ・ビエンナーレ、インド国際トリエンナーレなど数多くの国際展に出品し、2002年にはセゾン現代美術館にて大規模な個展を開催。また、同年に開催された「ヴェネツィア・ビエンナーレ第8回建築展」の日本館にディレクターとして参加するなど幅広い活動をおこなっている。著書に『ルネサンス 経験の条件』（筑摩書房）、共著に『漢字と建築』（INAX出版）、『れろれろくん』（小学館）などがある。また、『もしも憲法9条が変えられてしまったら』（岩波書店『世界』別冊2004年）にて、ミニ絵本（「Before And After Article 9」）を掲載、同時に表紙原画、本文カットを手がける。近畿大学国際人文科学研究so教授。東京在住。



会場：京都造形芸術大学

京都市左京区北白川瓜生山2-116
Tel. (075)-791-9122（代表）

- ・京都市バス
上終町京都造形芸大前下車すぐ
- ・叡山電車茶山駅より徒歩10分

